

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年8月23日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103318
法人名	医療法人 上原クリニック
事業所名	グループホーム あかね
所在地	鹿児島県鹿児島市山田町73番地1 (電話) 099-275-8008
自己評価作成日	平成28年5月30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年8月10日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- 楽しい雰囲気作りをして、御家族や地域の方々が気楽に訪問しやすい居心地の良いホームにしている。
- 認知症介護について日々自己研鑽し、入居者本位の介護をしていく努力をしている。
- たくさんのご家族様の参加、協力を頑いでいる、季節ごとの園外活動により、御家族同士、仲良く良い関係を築いている。
- 同じ敷地内にクリニックが併設されており、常時連携が取られていて、緊急時にも迅速に対応できる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当事業所は、隣接している母体法人の医療機関やデイサービスセンター、特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホームなどがあり、地域の高齢者福祉の役割を担っている。緊急時の対応や災害時の相互協力関係が構築されている。
- 町内会に加入し、地域行事に参加する一方、夏祭りなど法人の行事にも多くの地域の人々の参加がある。代表者は地域に対する貢献意欲が高く、地域の人々の信望が厚い。
- 利用者個々人の楽しみや特技を把握し、力量に応じてその人らしい生活ができるように支援に取り組んでいる。
- 所長や管理者は職員育成に力を入れて資格取得に向けた支援を行っている。職員は勤務年数も長く離職者も少ない。職員間のコミュニケーションも団られ、利用者の家族から感謝の言葉が多い。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念の内容を把握し、常に念頭に置きながら業務を行っている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念は、玄関やホール等、職員がいつでも見ることができるところに掲示している。日々確認しながらミーティングで日々確認し合い、職員会議等で振り返り、職員は理念を共有し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日頃から、地域の商店や魚屋・電気屋を利用している。又、小学生、中学校との交流も行っている。	町内会に加入し、地域の夏祭りや文化祭等の行事に積極的に参加している。小学校との交流、中学生の職場体験学習、ボランティアの受け入れなども行っている。日頃から食料品店や電気店など地域の商店を利用して日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域のボランティアや、研修生の受け入れ、小学生や中学生の学習交流教員研修などを通して認知症の理解や支援方法を学んで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	一年を通して会議を実施しており、事業所や利用者の状況、サービス内容を報告、話し合いを行いサービス向上に活かしている。	会議は定期的に開催している。事業所の行事や状況・課題を報告したり、外部評価の報告などを行い、参加者から多くの助言や提案が出され、民生委員の提案で車椅子での外出に地域婦人部のボランティアを受け入れるなどサービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	・市、介護相談員の受け入れ ・運営推進会議への参加等で協力を築いている。	市担当者には、書類提出時に利用者の実情や事業所の取り組み等を伝え、連携を深めている。市主催の研修会や地域ケア会議に参加している。介護相談員も年1回利用者の状況や相談を受けている。市の研修にも積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を設置し、実践に向けての勉強会を定期的に行っている。	マニュアルに沿って事例等を出して勉強会を3ヶ月毎に実施し、職員の質の向上を図っている。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。地域の見守りもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	地域の勉強会や研修会の参加を通して、意識向上を図り虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	公的機関からのポスター、リーフレット等で知識を得ている。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	改定等の際は、その都度文書や、家族会等で口頭説明を行い、家族の理解、納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族からの意見、要望があれば、まず管理者へ報告し、職員で話し合い早急に対応するようにしている。	利用者からは日常の生活の中での会話から意見や希望を把握している。家族からは面会や電話・家族会等で意見や要望を聞いて利用者の楽しみを運営に反映できるようにしている。市相談員の意見も参考にしている。意見箱も設置している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者は、管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	定期の職員会議、毎朝のミーティング時に意見、提案を聞く機会を設けている。	職員会議やミーティング、日常の現場などでの会話で職員の意見が出やすい環境にあり、意見を聞いている。電化製品などの購入や改善が行われている。要望で脱衣所の棚を購入したり、入浴に2人介助の日は日勤者を増やすなど意見を反映させている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスしている	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	職員は常に職場環境と条件の整備を意識しながら努力を重ね、実績を重ねている。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人外での研修や講習を受講する機会を作り、自らの力量を伸ばす努力をしている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	勉強会、講習会に積極的に参加し、情報交換を行うことで、サービス向上に繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

## II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される以前に職員が面会をし、本人の習慣や思い、趣味等を事前に知って、気持ちに寄り添いより安全で快適な生活をして頂けるよう努めている。		
16	○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の意向に耳を傾け不安を少しでも取り除き、ご本人に寄り添い安心して任せて頂けるよう努めている。		
17	○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族との面談で必要な支援、希望などを把握し、対応に努めている。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の立場を考慮し、同じ目線で気を配り、生活を共にする関係になるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	誕生会やお花見、イベント行事など園庭でのお茶会等も含めて御家族との絆を深め、楽しい時間を過ごしてもらえる様に努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族に協力して頂き、ご自身のお家や、習慣で通っていた場所、友人など交流を持って頂いている。	地元の利用者が多い。馴染みの友人知人の訪問の際にはお茶を出すなどして継続的関係が途切れないと働きかけている。手紙や電話の取次ぎなども行っている。家族の協力で外出や外泊、外食、墓参、理美容院利用なども支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操や風船バレー、ぬり絵、折り紙で季節ごとに掲示板の作品作り、レクリエーションを通じてコミュニケーションを図っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も御家族が来所されたりする際に、ご本人の近況や様子など伺ったりしている。入院や、他施設へ入所された際は、足を運び、お顔を見に行く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々の関わりの中で、本人の何げない言葉、行動、感情を読み取りながら個々の意向の把握に努めている。</p>	<p>日常的に利用者と関わる中で、その日その日の感情や思いなどから意向を把握している。その人らしさを観察し記録している。言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。困難な場合は家族や関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に検討している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>今までの生活暦・生活習慣を理解し、職員で共有し、コミュニケーションを図っている、又、日々の生活での変化がある場合も職員で共有し、入居者様の状態把握に努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>個々の能力や体調を常に把握しながら、毎日の生活に即している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	日々の生活の中での変化を観察し、職員全体で個々の様子を共有し、モニタリングを重ね現状に合った介護計画を作成している。	本人・家族・必要な関係者の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ担当者会議で話し合い個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	毎日の水分、食事の摂取量、排泄や受診状況など特に変化があった事などを個別に記録し、全職員で情報を共有すると共に本人のケアに繋げている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>平八や家族の状況、てりづけに生むれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	関連クリニックとの医療連携を生かし、通院や入院を負担なく行えるようにし、生活継続ができるように取り組んでいる。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一八いこりの春つらけをめんくいいる地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	園外活動や、そば打ち、夏祭りなどの行事を通じ地域の方々の協力を頂きながら豊かな暮らしを楽しめるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所以前からのかかりつけの医療機関がいつでも受診出来る様に御家族にも協力を頂いている、又、歯科に関しては往診をして頂いている。	契約時に、本人や家族の意向を聞きかかりつけ医の希望を優先している。専門医の受診は家族に協力を貰い他は職員が行っている。定期的な訪問診療や歯科の往診・訪問看護師との連携も図られ、適切な医療が受けられるよう連携を取っている。	
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態変化などは、月に一度の主治医による定期回診、週に一度のナースによる健康チェックで管理し、全体で皆様の健康管理に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の情報は、管理者、責任者による定期的な連絡などを行っている、又、密な連絡に関しては、医療者側とご家族で行い、その情報を伝えてもらっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度な方や終末期などに関しては、契約時に十分な話し合いを行って、ご本人、ご家族の考えや医療との関わりを共有している。</p>	<p>契約時に重度化に伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族と話し合い、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取り希望の場合は医師や職員が連携を取り、隨時意思を確認しながら取り組んでいる。看取りの事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年に一度、AEDの取り扱い、応急手当の訓練を行っている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災、災害時の対策として、年に二回避難訓練を行っています、消火器や避難経路の確認を行っています。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと昼夜想定の避難訓練を実施している。隣接する同法人の事業所や医療機関と協力体制ができている。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、地域との協力体制もできている。災害時の水や米・缶詰・卵・インスタント物・調味料等が備蓄されている。防災器具用にカセットコンロや防災グッズ・懐中電灯なども揃えている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりの気持ちや思いを考慮しながらいろいろな場面で、人格やプライバシーに配慮した声掛けを行っている。</p>	<p>マニュアルに沿って事例を出し学習している。誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないケアに取り組んでいる。入浴やトイレ誘導・入室時にはノックするなど羞恥心に対する配慮も行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者が出来る事は積極的に声をかけて、自己決定できる場面を作っている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事の時間や入浴タイムの変更等、その時々の入居者様のペースに合わせた過ごし方を支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>定期的な訪問美容師による、カット、ネイルマニキュア等、お洒落を楽しめるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	日々の食事を楽しんでもらえる様に利用者の好みや苦手なものに配慮しながら努めている。季節の物や旬の食材を使って献立を提供している。	嗜好調査を行い、利用者の食べたい食事を把握している。旬の食材で食事形態を工夫している。季節の行事食やそば作り、梅干し作りや食事の準備・片づけなどにも一人ひとりの力を活かしながら職員と一緒にを行い、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量、食事摂取量を記録し、少ないと思われる方には、調理の工夫や、飲水の声掛けを行い、摂取量の確保に繋げている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの必要性を話し、楽しく歯磨きが行えるよう声掛けを工夫している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の行動をよく観察し、落ち着きのない時や、定期的な声掛けをして、トイレでの排泄が習慣付けられる様努めている。	排泄チェック表で排泄のリズムを把握している。必要に応じて声かけし、トイレでの排泄を大切にしている。乳製品や運動で自然排便と排泄の自立を支援している。オムツから改善された利用者がいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	お茶の時間に乳製品を定期的に取り入れるようにしている。体操や散歩など、体を動かすことを積極的に行うようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわず、個々に応じた入浴の支援している	入浴嫌いな入居者様にはタイミングを図って、いつでも対応支援している。	基本的には週3回であるが、体調や希望に合わせて対応している。清潔保持のため、必要時には柔軟に対応している。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整などを行い職員間で連携して、状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠不足や体調不良の時など状況に応じて、安心して休息できる様支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬情に目を通し、体調の変化を観察しながら服薬の支援に努めている。 不明な点は早急に主治医に確認できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	洗濯物干し、たたみ等を作業に取り入れ自ら積極的に行ってい る、又、職員と一緒に工作や折り紙など楽しんで行っている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している。</p>	利用者の体調を見ながら、天気のいい日には、職員と一緒に施設周辺への散歩に出かけてい る、入居者様によつては、家族の方が、車での買い物や食事に連れ出してくださっている。	日常的には体調や天気のいい日は周辺の散歩や近所の店に買 い物に出かけたりしている。年間計画を立て、初詣や花見・ソーメン流しにも出かけている。車椅子対応車も利用している。家族の協力で外泊や外出・外食・墓参などにも出かけている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるよう支援している</p>	可能な入居者は外出の折、その都度買い物など、お金を取り扱う機会を作っている。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	要望があれば、その都度電話の取りつけや手紙の受け取りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の場所には、ゆったり過ごせる様に、季節の花を飾り、ソファーを設置し、ゆっくりテレビを見たり、くつろいだり出来る様に工夫している。	共用空間は、窓が大きく広々として明るく、採光や換気・温度・湿度に配慮されている。レクリエーションが楽しめる広い空間になっている。壁には利用者の作品や写真が掲示されている。季節感を大事にした花や飾りつけがあり、好きな場所のソファーで居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いで過ごせるような居場所の工夫をしている	気持ち良く過ごせるように席の配置を考慮している。 自由にくつろいでもらえるソファーを設置している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自分の使い慣れた物や、家族の写真、好きな絵、テレビ等を置き、又、担当者を付け、常に整理整頓を心がけ居心地の良い部屋作りに努めている。	利用者や家族と話し合い家具の配置や飾り付けをしている。自宅で馴染んできた物やテレビ・家具が置かれ、プライバシーも守れ安心してくつろげる居室になっている。居室は電動ベッドやチェストが備え付けである。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	カレンダーや時計を設置し、自分で日時が確認できる環境を作っている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

				1 ほぼ毎日のように
				2 数日に1回程度ある
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		○	3 たまに
				4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		○	1 大いに増えている
				2 少しづつ増えている
				3 あまり増えていない
				4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)		○	1 ほぼ全ての職員が
				2 職員の2/3くらいが
				3 職員の1/3くらいが
				4 ほとんどない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。			1 ほぼ全ての利用者が
				2 利用者の2/3くらいが
		○		3 利用者の1/3くらいが
				4 ほとんどない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。			1 ほぼ全ての家族等が
		○		2 家族等の2/3くらいが
				3 家族等の1/3くらいが
				4 ほとんどない